

日本認知言語学会第7回全国大会プログラム

京都教育大学後援

9月23日(土) 受付12時から

総会(12:20~12:30) (F棟2階大講義室)

ワークショップ	12:40 15:20		ワークショップ第1室	ワークショップ第2室	ワークショップ第3室	テーマつき研究発表	「テーマつき研究発表」は、研究発表に応募された方の中から共通性の高い研究発表を1つづきの発表にする企画です。
			F棟1階F16	F棟2階F22	F棟2階F26	F棟2階大講義室	
			「認知言語学から見た日本語教育主観的把握の理解・運用のために」 守屋三千代(創価大学)[代表] 近藤安月子(東京大学大学院) 姫野伴子(埼玉大学)	「音を伴う移動構文をめぐる:対照言語学的観点から」 深田智(英知大学)[代表] 田村幸誠(滋賀大学) 和佐敦子(大阪外国語大学(非常勤)) 津田喜美代(近畿大学(非常勤)) コンラック ガルナー(チェンマイ・ラジャバット大学/滋賀大学)	「日本語テキスト解析ツールText lmiの紹介」 深谷昌弘(慶應義塾大学)[代表] 秋山優(慶應義塾大学[院]) 中野智仁(慶應義塾大学[院]) 佐治伸郎(慶應義塾大学[院]) 榎田晶子(慶應義塾大学[院]) 林千登(富士ゼロックス株式会社) 舘野昌一(富士ゼロックス株式会社)	「認知言語学と外国語教育」 森山新(お茶の水女子大学)[代表] 森本智(東北大学[院])・堀江薫(東北大学大学院) 千葉宏之(Lalaa(英語クラブ)) 佐野香織(お茶の水女子大学[院])	

		第1室	第2室	第3室	第4室	第5室	第6室
		F棟1階F12	F棟1階F16	F棟2階F22	F棟2階F26	F棟2階大講義室	A棟4階A1
第1発表	15:40 16:20	橋本敬(北陸先端科学技術大学院大学)・中塚雅也(北陸先端科学技術大学院大学) 文法化の構成的モデル化 -- 進化言語学からの考察	花崎美紀(信州大学)・加藤鉦三(信州大学)・近藤弘子(信州大学(非常勤)) “Over-V”使用場面に動機付けられた統語パターン	水野真紀子(東京大学(院))・内田諭(東京大学(院))・Nagy Anita(東京大学(院))・大堀壽夫(東京大学大学院) 人間関係のメタファーにおけるスキーマ類型	大石亨(明星大学) 日本語形容詞の意味拡張をもたらす認知機構について	今井澄子(大阪大学(院)) 場所に存在することの表現から進行相表現へ - 英語進行形の文法化	高木宏幸(近畿大学) 「コントロール」特性を決める意味的要因について
第2発表	16:20 17:00	岡本順治(学習院大学) オートボイエーションを取り込んだ理論の構築へむけて	梅本孝(静岡産業大学) 起点と着点をめぐって	中本敬子(文教大学)・金丸敏幸((独)情報通信研究機構)・黒田航((独)情報通信研究機構) 意味役割理論から見た名詞の種別と隠喩的使用との関係	家口美智子(摂南大学) Very と極限形容詞についての一考察	眞田敬介(北海道大学(院)) 認識的用法のmustを含む疑問文の文脈について	本間勇一(東北大学(院)) 英語の名詞補文選択について - いわゆる同格表現におけるto不定詞とof動名詞を中心に

休憩(10分)

第3発表	17:10 17:50	小熊猛(国立石川工業高等専門学校) 認知モード転換と属格/主格交替: いわゆる他動性制約の反例および認知類型論的示唆	山田博志(筑波大学大学院) 道具と場所の中間領域をめぐる - フランス語を中心に -	ヤン・ジョンヨン(埼玉大学(院)) 擬情オノマトペの表す意味とその音的特徴について	大塚真理子(京都大学(院)) 膠着語における節の文法化に関する一考察 日本語・韓国語の理由を表す接続詞「だから」「...kulenikka」の意味形成過程について	有光奈美(東洋大学) “half”は「半分」か? --- 量から質への認知的動機付けについて	藤川勝也(大阪市立大学(院)) 叙述の二次述語に対する意味的・語用論的分析
第4発表	17:50 18:30	宇野良子(東京大学大学院)・池上高志(東京大学大学院) 二つの話者関与度スケールの相関 「から」と「ので」の違いの分析	森山智浩(京都外国語大学(院))・福森雅史(大阪外国語大学(院)) 英語前置詞for, byとイスパニア語前置詞porの概念メカニズムへの認知的アプローチ	竹本江梨(フリー) 擬態語における長母音と反復形の音象徴と類似性: かっ、かあっ、かっか	山崎章裕(京都大学(院)) 北信方言「~しない?」についての認知言語学的考察: 文法化の観点から	森貞(福井工業高等専門学校) I don't know that p. と *?I don't realize that p. について: 「設定的知識」の導入	對馬康博(北海道大学(院)) 主題非明示型結果構文の構文的環境とそのカテゴリー形成

* 書籍展示はF棟1階F13-F15

懇親会(18:50~21:00) 藤森神社「鳳凰の間」

9月24日(日)

シンポジウム (9:20~12:00) (F棟2階大講義室)	テーマ 認知言語学と言語教育
	田中茂範(慶応義塾大学) 李 徳奉(同徳女子大学校) 岩田純一(京都教育大学) 岸本映子(大阪市立港南中学校) 司会:吉村公宏(奈良教育大学)

		第1室	第2室	第3室	第4室	第5室	第6室
		F棟1階F12	F棟1階F16	F棟2階F22	F棟2階F26	F棟2階大講義室	A棟4階A1
第1発表	13:00 13:40	石野美香(シカゴ大学(院)) Interaction of gestures and metonymies: case study	岡 智之(東京学芸大学) 場所的存在論による八とガの統一説	大澤理英(高麗大学校文科大学) オノマトペの意味拡張の事例に基づく共感覚的比喩表現の一方性における反例と考察	金澤俊吾(岩手県立大学) 英語における形容詞と副詞の意味的機能について	中西充一(神戸市外国語大学) なぜ英語進行形に起動相的解釈は不可能か(認知文法の視点からの分析)	野澤元((独)情報通信研究機構)・渋谷良方((独)情報通信研究機構)・Helen Bissett(京都外国語大学) 行為の規模と構成性の意味論: 動詞と構文を中心に
第2発表	13:40 14:20	小田弘美(HP研究所) ジェスチャー対話における左右逆転現象克服の方略について	伊藤健人(群馬県立女子大学) [ガ-ニ-V] 構文における二格名詞句について: 構文文法的考察	高田 麻里(ジョージタウン大学大学院) The interface between perception and cognition: An experimental study of the expressions of auditory phenomena	町田章(長野県短期大学) 多次元プレーンモデルによる構文の拡張-日英語の属性叙述受動文	樋口万里子(九州工業大学) 英語の現在完了形の時制の意味機能	野田大志(名古屋大学(院)) 分析可能性の低い語彙的複合動詞に関する一考察 - 「落ち着く」の意味分析 -

休憩(10分)

第3発表	14:30 15:10	ラダポーン サイソーン(大阪大学(院)) 身体部位を表すタイ語の文法化: 「naa(顔)」を中心に	山本幸一(名古屋大学大学院) 「ウナギ文」の認知言語学的分析: メトニミーの下位区分を通して	平川公子(大阪大学(院)) subjective/objective construalと主体化との関わり	酒井智宏(日本学術振興会特別研究員) マッチングと矛盾文の伝達情報	玉地瑞穂(高松大学)・堀江薫(東北大学大学院) 日本語のモダリティの意味の原型性: 第2言語習得データに基づいて	野呂健一(名古屋大学大学院) 構文文法からのアプローチによる同語反復表現の考察 - 「XらしいX」を中心に -
第4発表	15:10 15:50	有園智美(名古屋大学(院)) 「頭」「胸」「腹」精神活動の在り処としての身体部位詞	安原和也(京都大学大学院・日本学術振興会特別研究員) Blended Referents in Conceptual Disintegration	金丸 敏幸((独)情報通信研究機構)・村田真樹((独)情報通信研究機構) 複合動詞と主体化に関する考察: 複合動詞「~づける」の分析を通して	Petrishcheva Nina(北海道大学大学院) Discourse Marker Function of Some Phatic Interjections in English	片岡宏仁(関西外国語大学(院)) 事象の確定/非確定とモダリティ: 英語法助動詞 will/must の対比を中心に	年岡智見(京都大学(院)) On the Co-occurrence of Verbs of Charging and Ditransitive Construction

特別講演(16:00~18:00) (F棟2階大講義室)	講師 Professor Leonard A Talmy: ニューヨーク州立大学バッファロー校)
	演題 How language structures concepts

*書籍展示はF棟1階F13-F15